

取組項目(案)・概要	検討状況
<p>1 特殊救助災害に対する新たな部隊の創設 (概要) ○特殊救助災害への対応力を強化するため、知事の「指示」による迅速出場を可能とした機動救助部隊を創設 (現行の相互応援協定の仕組みに追加)</p>	<p>* 千葉県等の先行事例等を研究するとともに、府内消防長へのヒアリング等も行い、府内で実施する場合の体制や運用等について検討中</p> <p>※2019ワールドカップ、2020東京オリンピックでは国主導のもと消防対策協議会を設置(H29.11)し、大会開催に備えた警戒・予防体制を検討中</p>
<p>2 119番通報同時通訳サービスの共同導入 (概要) ○外国人による119番通報に的確に対応していくため、府域全体で通訳サービスを共同で導入</p>	<p>* 府内消防本部での119番通報の外国語対応の状況を把握</p> <p>* 同時通訳サービスの共同導入方法を検討中 (契約主体・手法、分担金の負担方法等)</p> <p>※導入経費は、平成29年度から市町村へ交付税措置実施済</p>
<p>3 特殊車両等の共同購入、共同運用 (概要) ○はしご車等、出勤頻度の高い車両は、共同して整備することにより、車両の購入費・維持管理費を効率化</p>	<p>* はしご車共同運用の先行事例等を分析</p> <p>* 各消防本部のはしご車等の更新時期、配置箇所等の確認、共同購入・共同利用の意向の有無等を集約予定</p>
<p>4 指令業務の共同運用の推進 (概要) ○指令を共同化することで、迅速な活動を推進</p>	<p>* 千葉共同指令センター等の共同化事例を調査し、共同化による効果を検証中</p> <p>* 府内本部の指令台更新に係る課題や共同運用に対する考えを把握予定</p> <p>* 上記を踏まえ、指令の共同化を促進するための整備費支援スキーム等の国への提案を検討</p>
<p>5 消防本部間の人事交流の推進 (概要) ○現場レベルでの人事交流を推進し、現場職員の連携を醸成</p>	<p>* 府内本部の人事交流の現状や課題を把握予定</p> <p>* 府が各本部の人事交流の意向等を取りまとめ、マッチングする仕組みを検討</p>
<p>6 消防車両の機関員(運転・操作員)養成 (概要) ○若年層職員の機関員養成(運転技術)を効率的かつ効果的に一括して機関員を養成する環境を整備し、緊急車両の安全運行を推進</p>	<p>* 府内本部における機関員養成の現状や課題を把握予定</p> <p>* 運転コースの確保方法や講習実施方法等を検討中</p>
<p>7 派遣型指導要員によるOJTの実施 (概要) ○派遣型指導要員を消防学校に配置し、現場での実施指導等を行う</p>	<p>* 府内本部における予防等の専門人材確保の現状や課題を把握予定</p> <p>* 派遣型指導要員の配置方法等を検討中</p>
<p>8 緊急消防援助隊の後方支援活動の強化 (概要) ○大規模災害時に円滑な消防活動をするため緊急消防援助隊大阪府大隊出動時に、府職員が帯同し、隊員の輸送手段の確保、現地での活動支援等を実施</p>	<p>* 災害時の府職員の行動規範を定めた「大阪府災害等応急対策実施要領」に、緊援隊出動時における府職員の派遣を位置付けることを検討中</p> <p>* 災害発生時の実際の派遣手順や現地での役割等について検討中</p> <p>* 府職員派遣時の当座の活動資金を確保するため、小口支払基金の保有限度額を拡大</p>